

令和6年度 立山町社会福祉協議会事業報告

高齢者単身世帯、日中高齢者世帯、核家族化による子育て世帯、独居若年世帯等の増加やコロナ禍の影響を受け、地域のつながり・支え合う力の希薄化、社会的孤立が地域の大きな問題となっており、高齢福祉、障がい者福祉、児童福祉等の各分野における福祉ニーズは一層、多様化・複合化しています。

また、近年、多発している自然災害に対する福祉的支援のニーズへの対応も求められています。

このような中、本会では、令和5年3月に策定した「第4次地域福祉活動計画(令和5年度～9年度)」に基づき、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指して」を基本理念に、8つの基本目標の推進に努めました。

災害救援ボランティア活動支援事業では、令和5年度に連携協定を締結した立山ライオンズクラブ及び立山舟橋商工会青年部、並びに防災士会等と合同で、ボランティアセンターの概要や運営に関する研修会を開催し、関係団体同士の連携強化を図りました。

共同募金配分事業では、「支えあいマップづくり事業」を実施しました。住民同士の支え合い活動や防災時の問題点等を地図上で可視化し、共助の仕組みを検討しました。

共同募金の助成金を活用し、10人乗りの福祉ワゴンを購入しました。集落単位での常設サロンへの送迎過程における生活支援などを目的に運用を行う計画です。

その他、地域住民の福祉拠点として多様化、複合化する福祉ニーズを的確にとらえて極力対応するため関係機関との連携や協働により、

- ①見守り活動や地域交流の場づくりなどを中心とした小地域福祉活動の推進
- ②総合的な相談支援体制の推進
- ③ボランティア活動への支援
- ④福祉教育の推進
- ⑤高齢福祉事業の推進
- ⑥日常生活自立支援事業の推進
- ⑦出逢い応援事業による結婚支援
- ⑧家で余っている食品を福祉活動や生活支援に活用するフードドライブ事業
- ⑩町との共催による福祉のフリーマーケット事業

等の事業に取り組みました。

各事業の実施内容は次のとおりです。

1. 法人運営事業・その他の事業

(1) 法人運営、役員活動事業

5月	令和5年度会計監査	5月10日	元気交流ステーション
5月	理事会	5月29日	元気交流ステーション
5月	評議員選任・解任委員会	5月30日	文書審議
6月	評議員会	6月14日	元気交流ステーション
6月	理事会	6月17日	文書審議
8月	理事会	8月28日	元気交流ステーション
3月	理事会	3月10日	文書審議
3月	理事会	3月24日	元気交流ステーション
3月	評議員会	3月26日	元気交流ステーション
3月	評議員選任・解任委員会	3月31日	文書審議

(2) 共同募金活動、日赤事業、立山善意銀行事務、町遺族会事務

(3) 社会福祉協議会ホームページの開設、運営

ページビュー数 17,453回

(4) フードドライブ事業 ※日赤立山町分区、町法人連絡会との共催

家庭や職場等で余っている食品や生活用品を募集し、必要とする方へ届ける取り組みとして、各団体と連携して年2回開催した。

・R6夏季フードドライブ

食品募集 8月1日～8月15日 社会福祉協議会窓口
受付数 13件 / 744点
食品配布会 8月18日 元気交流ステーション
48世帯へ配布

・R6冬季フードドライブ

食品募集 12月2日～12月13日 社会福祉協議会窓口
受付数 31件 / 620点
食品配布会 12月15日 元気交流ステーション
85世帯に配布

・個別配布 4月1日～3月31日 社会福祉協議会窓口

33世帯へ配布

2. 企画広報事業

令和6年度立山町社会福祉協議会表彰式において、これまで福祉の推進に功績のあった個人と団体を表彰し、より多くの町民が福祉について考える機会とした。また、記念講演会を開催し、ボランティアや福祉活動に関する理解促進を図った。

立山町社会福祉協議会表彰 11月9日 元気交流ステーション

社会福祉事業功労個人11名 / 3団体

記念講演 「地域づくりから考える防災」

講師 合同会社 HUGKUMI 代表社員 長井 一浩 氏

3. 地域福祉推進事業

(1) 地域総合福祉推進事業（ふれあい地域づくり事業・ケアネット事業）への助成、活動強化に努めた。

〈ふれあい地域づくり事業の目的〉

地域住民のニーズや生活課題等の把握と対応地域住民主体になった域福祉活動や情報発信、地域コミュニティを形成するための居場所づくりをとおして、地域づくりに向けた支援を行い、多様な機関との連携・協働のもとに、対象者の属性を問わない相談支援や参加支援等、一体的な実施へとつなげる。

・地区事務局会議の開催

地域福祉活動の中核的な役割を担う、町内10地区の社会福祉協議会事務局との情報共有・情報提供の場を設定し、地域福祉をより推進のための基盤整備を行った。

第1回	地区社協事務局会議	6月26日	元気交流ステーション
第2回	地区社協事務局会議	10月31日	〃
第3回	地区社協事務局会議	1月24日	〃
第4回	地区社協事務局会議	3月11日	〃

・サロン活動の推進と活動実績

ふれあいいきいきサロン

地区社協を中心にふれあいいきいきサロンを開設し、高齢者の生きがいや社会参加意欲を高めた。

令和6年度	延べ501回	参加者延べ	7,774名
令和5年度	延べ617回	参加者延べ	9,206名

子育てサロン

地区社協単位で子育てサロンを開設し、主に未就所（園）児と家族を対象に、子育て期の不安の解消や情報交換など子育て支援を行った。

令和6年度	延べ62回	参加者延べ	1,688名
令和5年度	延べ60回	参加者延べ	1,868名

〈ケアネット事業の目的〉

地区社会福祉協議会を単位として、乳幼児から高齢者のなかで支援を必要としている方々を対象に、各地区の住民が一体となり、見守りや話し相手などの支援を必要に応じて提供し、誰もが住み慣れた地域の中で、安心して生活できるまちづくりを進める。

・ケアネット事業の推進と活動実績

地区社協を窓口として、支援を必要とする方や世帯を対象に、地域の支え合いによる見守り活動等を行った。

令和6年度	実施地区数	10地区	援助対象者	153名
			活動参加者数	241名
			訪問等活動延べ回数	10,927回
令和5年度	実施地区数	10地区	援助対象者	139名
			活動参加者数	275名
			訪問等活動延べ回数	11,025回

- ・ケアネットセンター運営事業
- ・実施地区検討会・報告会等参加 10回
- ・立山町ケアネット活動全体検討会 8月7日 元気交流ステーション 参加者37名
立山町内のケアネットリーダー・メンバーを対象に、ケアネット活動の現状や課題の共有、情報交換の場とし、活動推進を図った。

テーマ：「災害時・緊急時にもつながり、広がる、日頃からのケアネット活動
～もしもに備えて、それぞれができることを考えよう！～」

助言講師：金城大学 人間社会福祉学部 内 慶瑞 教授

- ・ケアネット活動連絡会 12月17日 元気交流ステーション 参加者24名
立山町内におけるケアネット活動の推進のため、ケアネットリーダー・メンバー、地区社会福祉協議会関係者等が、実践活動上の情報や課題を共有し、今後の活動に向けた改善点等を話し合う場として開催した。
- ・町内居宅介護支援事業所連絡会・ケース検討会等出席 15回
- ・個別ケースの相談や会議への出席・開催 24回

(2) 福祉人材育成・支援事業

〈ふれあい活動員の配置〉

ふれあい活動員（福祉協力員）を70名配置し、サロン活動やケアネット活動への実施・協力を行った。

- ・第1回ふれあい活動員委嘱式・研修会

4月24日 元気交流ステーション 参加者59名

テーマ：「ふれあい活動員の役割をとおして学ぶ
～地域福祉活動の意義と傾聴の基本姿勢～」

講師：富山大学 学術研究部

- ・第2回ふれあい活動員研修会（福祉教育サポーターフォローアップ講座と合同開催）

2月28日 元気交流ステーション 参加者49名

テーマ：「一人ひとりの暮らしと生きがいをさせる地域づくりへ
～障害等を抱える方への理解をふまえて～」

講師 富山福祉短期大学 国際観光学科 鷹西 亘 教授

〈ふれあいいきいきサロン・子育てサロン運営に伴う協力者との連携〉

- ・ふれあいいきいきサロンリーダー研修会

10月11日 元気交流ステーション 参加者29名

テーマ：「干支の型抜きアート指導講習」

- ・子育てサロンリーダー研修会

8月23日 新川公民館 参加者30名

テーマ：「新川地区子育てサロンの視察をとおして

今後の子育てサロンのあり方を考えよう」

(3) 地域福祉活動計画の推進

2023年度～2027年度の5ヵ年を計画期間とする、第4次地域福祉活動計画の推進委員会を開催し、初年度のふりかえりとして事業の点検・評価を行い、2年度の方向性に反映させた。

- ・推進委員会 5月29日

- ・事務局内検討会（月1回）

(4) ふれあい総合相談事業の実施

弁護士等の専門相談、民生委員児童委員による心配ごと相談等の一般相談を実施した。また事務局職員が相談援助を随時行った。町広報や社協だより「そよかぜ」に相談センターの相談日を掲載し広報に努めた。ふれあい総合相談センターに関わる相談員等を対象に研修会を開催した。

- ・ふれあい総合相談センター相談員等合同研修会

9月11日 元気交流ステーション 参加者32名

(心配ごと相談員、行政相談員、人権擁護委員、生活支援員、地区社協事務局と合同)

講義：「生活困窮者等のための支援と地域づくり」

講師：富山中央法律事務所 西山貞義 弁護士

- ・相談件数 法律相談 51 心配ごと相談 7件 職員対応相談 24件

(5) 地域公益活動への支援

町内の法人相互間の連携及び各法人それぞれがもつサービスとの連携等により、地域への貢献活動を推進するため設立した立山町社会福祉法人連絡会の会員法人が、情報や課題を共有し、協働による活動を積極的に行った。

- ・法人連絡会（総会）の開催 6月17日

- ・災害時の体制整備

フードドライブの取り組み（法人運営事業と連携）

法人連絡会として取り組みの周知及び協力（食品の提供、当日の運営協力等）

第1回 8月18日 元気交流ステーション

第2回 12月15日 //

立山町総合防災訓練への参加（展示ブース：災害時における法人連絡会の役割）

9月7日 釜ヶ淵小学校内

- ・福祉人材の育成

2月～3月 実習生の受け入れ・指導

4. 助成事業

社会福祉団体等5団体に活動費の助成を行った。

5. 在宅福祉サービス推進事業

(1) 高齢者外出支援サービスの実施

高齢者で心身の障がい及び疾病等の理由により日常的に車いすを利用している方に対し、車両と運転手を派遣し医療機関への外出支援を行う。

登録者数 1名 利用回数 0回

※令和6年度をもって事業廃止

6. ボランティア活動事業

(1) ボランティアコーディネーター設置事業

ボランティアセンター相談件数	センター利用に関するもの	278件
	ボランティア情報等に関するもの	30件

ボランティア保険に関するもの	118件
助成金・寄附等に関するもの	210件
人材の紹介に関するもの	20件

(2) ボランティア活性化事業

ボランティアに関する情報を社協だより「そよかぜ」の紙面や町内数か所に設置した掲示板で紹介した。また、ボランティアセンター運営委員を委嘱し、運営委員会を開催することで、事業運営の推進を図った。

第1回 6月28日 元気交流ステーション

第2回 3月25日 //

(3) 調査研究事業

※(5) 広報啓発事業に切り替え

(4) 養成研修事業

ボランティアリーダー等の連絡会やボランティア会員を対象としたボランティアフォローアップ講座及び新規活動者向けの養成講座を行った。

・ボランティアグループ会員研修・育成

フォローアップ講座 元気交流ステーション 参加者24名

コミュニケーションスキル向上を目的としたボランティア活動者向けの研修会を開催。

演題 第1回「心つながるコミュニケーション」12月19日

第2回「セルフコンパッション」12月26日

講師 NPO 法人りばてい one 代表 坂本 美奈子氏 (臨床心理士)

グループ交流会 3月7日 元気交流ステーション 参加者25名

センター登録グループ会員を対象とした情報交換会を開催。

演題 「新しい時代のボランティア」

講師 富山短期大学 ボランティア支援センター長 明柴 聡史 氏

※ボランティアサークル学生6名参加

・ボランティア養成講座 元気交流ステーション 参加者11名

演題「楽しい手話講座」 第1回 1月25日 第2回 2月1日

(5) 広報啓発事業

ボランティア活動の啓発・推進を図るため、ボランティアまつりを開催した。ボランティアグループの活動発表(3団体)やボランティア体験コーナー(7団体)や登録グループの活動紹介パネルの展示を行った。また、ボラカフェ・軽食コーナーや就労支援施設商品によるイベント募金を行った。

・ボランティアまつり 11月9日

元気交流ステーション 2階 大会議室・くつろぎ交流室 参加者 88名

・ボランティアグループ活動PR動画の作成

常設サロン、イベントの際等に放送を行い、ボランティア活動への興味・関心を高め活動参加を促すための動画を作成。

(6) 児童・生徒のボランティア活動普及事業

推進校8校(小学校6校、中学校1校、高校1校)に活動費助成を行った。

(7) 福祉教育地域指定推進事業

「地域の一員としての気づき」というテーマに基づき、保育関係者・教育関係者・ボランティアを対象に福祉教育推進セミナーを開催した。また、担当校等との連携学習会の他、町内小学校での出前学習を行った。

・担当校との連携学習（立山小学校5年生）

- 9月 5日 障害学習「手話」 講師：手話サークルすぎのこ
- 10月 4日 地域福祉活動（地域理解・一日民生委員）
- 10月16日 高齢者との交流会（シニアサロン参加） 交流：立山地区住民

・出前講座（立山中央小学校4年生）

- 9月26日 障がい学習「身体・知的・精神」 講師：富山福祉短期大学 鷹西 恒 教授
雷鳥苑 施設長 富田 氏
- 10月3日 体験学習（手話・身体・車いす） 講師：手話サークルすぎのこ
身体障害者協会 会長 古川 氏

・夏休みボランティア体験学習会

- 8月8日 工場見学会（収集ボランティア） 講師：株式会社アルト

・福祉教育推進セミナー

第1回 福祉教育推進セミナー 6月19日

元気交流ステーション 10名

「令和5年度活動状況報告・令和6年度計画について」

講師：富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏

第2回 福祉教育推進セミナー（報告会） 2月13日

元気交流ステーション 40名

報告：立山小学校、立山町社会福祉協議会

講師：富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏

(8) 災害救援ボランティアセンター活動支援事業

災害救援ボランティアセンターや避難所の運営、その他必要な機能等について考える。また、災害時に限らず、地域での困りごとに対応できる協力者を増やすことで、災害時の支え合い機能の強化・組織化を図った。

・協定締結団体との合同研修会 7月5日 元気交流ステーション 参加者 約40名

講義 「連携・ネットワークの必要性について」

講師 富山県防災士会 理事長 佐伯 邦夫 氏

・災害ボランティアセンター啓発講座 11月5日 元気交流ステーション 参加者 42名

講義 「災害時に直面する課題について」

講師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄 氏

・内部職員研修会 11月5日 元気交流ステーション 参加者10名

テーマ「災害対応について（組織体制）」

講師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄 氏

・出前講座 11月21日、2月21日、3月23日

テーマ「日頃の備え」 3集落で実施

・輪島市災害ボランティアセンター応援派遣 職員2名

1回目 6月 3日～6月 8日

2回目 8月19日～8月23日

(9) 福祉教育サポーター養成確保事業

町づくりや福祉教育の推進を図ることを目的に、福祉教育サポーターの養成研修会を開催した。
また、サポーター設置検討委員会にて、養成・設置に係る意見交換を図った。(修了者47名)

・福祉教育サポーター設置検討委員会

第1回 養成計画 6月26日

第2回 事業報告・次年度計画 3月11日

・福祉教育サポーター養成確保事業(全4回) ※修了者のフォローアップ講座兼ねる
受講者4名中/4名修了 いずれも会場は立山町元気交流ステーション

第1回講座 7月30日

講義 「福祉教育の基本」グループワーク

講師 元富山県社会福祉協議会職員

水井 勤 氏

第2回講座 夏季 8月18日 冬季 12月15日

体験「フートドライブ活動への参画」

第3回講座 11月19日

講義&交流 「地域づくりから考える防災」

講師 合同会社 HUGKUMI 代表社員 長井 一浩 氏

第4回講座 2月28日

講演会 「一人ひとりの暮らしと生きがいを支える地域づくり」

講師 富山福祉短期大学国際観光学科 鷹西 恒 教授

7. 居宅介護支援事業

ケアマネジャーによる適切なケアプランの作成、介護給付費の管理

要介護1～5 月平均利用者数 94名

介護予防 月平均利用者数 8名

8. 居宅介護等事業(ホームヘルプサービス)

(1) 要介護認定者への訪問介護 要介護1～5 月平均利用者 15名

総合 月平均利用者 16名

(2) 障害者への訪問介護 身体障害者 月平均利用者 1名

知的障害者 月平均利用者 1名

精神障害者 月平均利用者 8名

(3) 自立支援サービス 令和6年度利用回数 5名

9. 日常生活自立支援事業

高齢者や障がいのある方に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理のお手伝いをすることにより、安心して生活が営めるように生活支援員が援助を行った。

利用者 5名 生活支援員登録者 6名

制度利用等相談件数 23件 相談援助件数 60件

10. 高齢者福祉推進事業

(1) みらいぶくつろぎサロン運営事業

元気交流ステーションに集約されている保健福祉総合機能を活かした誰もが集える常設型のサロンとして、引きこもりの防止や認知予防に関する活動を取り入れたメニューの提案、健康器具等の設置などを通して、積極的な社会参加、仲間づくり、生きがいつくり、健康づくりの一助となる機会を提供した。また、小物づくりキット等の（干支のちぎり）購入助成等を行い、各集落でのサロン活動の活性化を支援した。

元気交流ステーション2階大広間 サロン開催日数237日 延べ利用者数 5,017名

(2) 福祉バス運営事業

福祉バスを運行し、くつろぎサロンへの送迎及び福祉団体、地区社会福祉協議会等の諸行事の送迎を行った。

令和6年度 運行回数 延べ 136回 利用者数 延べ 1,673名

令和5年度 運行回数 延べ 136回 利用者数 延べ 1,521名

令和4年度 運行回数 延べ 130回 利用者数 延べ 703名

11. 基金運営事業

(1) 社会福祉事業振興基金の管理、運営

(2) ボランティア基金の管理、運営

12. 共同募金配分事業

(1) ふれあいいいききサロンランチ活性化事業

高齢者ふれあいいいききサロン、子育てサロン等に対して講師の派遣を行った。

講師派遣：インストラクター、笑いヨガ、防災講師他 延べ約80回派遣

(2) 支えあい（防災）マップづくり事業

住民同士のふれあいや支え合い活動を地図上に可視化するマップ作り及びその活用研修会を開催し、地域住民の支え合いの実績や生活上の問題を具体的に把握し、共助の仕組みを検討した。また、作成したマップの効率の良い活用を促すため、防災の視点を取り入れた。

・支えあいマップづくり実践 下段・利田・上段・五百石・大森・高野・立山

講師：合同会社 HUGKUMI 代表社員 長井 一浩 氏

下段地区 7月 6日 下段公民館 (下段・金剛寺・上金剛寺・榎)

利田地区 7月 6日 利田公民館 (立泉寺・利田新町・上野)

高野地区 9月 8日 高野公民館 (入門編)

大森地区 10月 5日 大森公民館 (入門編)

立山地区 10月 5日 岩嶽公民館 (入門編)

上段地区 11月 16日 上東地域活性化センター (日中柴山・上末)

五百石地区 11月 17日 下前沢公民館 (下前沢)

(3) 広報紙発行事業

社会福祉協議会だより「そよかぜ」の発行

年6回（奇数月） 全世帯配布

(4) 地域福祉・ボランティア活用啓発事業

ボランティアや福祉活動に関するPR バッジやチラシを作成した。

(5) ふれあい食堂運営事業

多世代交流促進、居場所づくりを目的に町内10地区社会福祉協議会及び福祉団体等と連携して開催した。

(連携団体：吃音がある子どもと保護者の会、でこぼこ保護者会、レクリエーション協会)

(6) 地域歳末たすけあい助成事業

町内10地区社会福祉協議会へ助成し、歳末時期に合わせて、見守り訪問や3世代交流等を推進した。

(7) 地域食堂支援事業（テーマ型募金事業）

居場所づくりや多世代交流促進を目的とする活動の支援として、環境整備用品、備品等を配備した。

(8) 福祉教育推進事業

福祉教育の推進・充実を目的に、外部講師の調整、必要物品の準備・調整を行った。

(9) みらいぶくつろぎサロン買い物支援事業

常設サロンの送迎過程における生活支援（買い物など）を目的に福祉ワゴン（キャラバン）を購入し、令和7年度からの運用に向けて、試験運行を実施した。

1.3. 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯等へ生活福祉資金等の貸付・相談を行った。

新規相談件数 31件 取扱件数 11件 継続相談件数 61件

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、特例貸付を受けた世帯への相談支援を行った。

貸付決定件総数（令和4年9月30日受付終了）

取扱件数

緊急小口資金 76件

総合支援資金 59件 総合延長 7件 総合再貸付 21件

(2) 生活困窮者自立促進支援事業

富山県東部生活自立支援センターと連携して、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者に対し支援を行った。

町報や社協だより「そよかぜ」に相談日を掲載し広報に努めた。

(3) 福祉のフリーマーケット事業

富山国際大学及び立山町との共催事業として、学生服や生活用品等の遊休品を取り扱い、生活困窮者等が必要な生活用品を安価で習得できるフリーマーケットの運営を行った。また、売上金の一部を共同募金へ寄付するなど福祉活動を行った。

販売日：12月15日

物品受付：12月7日

合計売上金 113,900円（有償：70,600円、無償：43,300円）

募金額 78,600円（有償分の50%及び無償分）

14. 出逢い応援事業

サポートセンター「おむすびくらぶ」を設置し、結婚相談や情報交換を通して出逢いの場を提供し、結婚への支援を行った。

・センター運営体制

推進委員 15名 支援員 20名(プランナー6名・アドバイザー8名・サポーター6名)

センター長 1名(社協事務局長兼任) コーディネーター 1名(社協職員兼務)

登録会員 136名 内訳：男性 81名・女性 55名 (令和7年3月31日現在)

※推進委員会の設置

円滑な運営と効果的な事業推進を図るために設置

立山町内で活躍する企業や団体、支援機関、学識経験者及びその他会長が必要と認めた者で組織し、立山町社会福祉協議会会長が委嘱するもの。

※支援員の配置

支援員は、地域活動に参加している者で、結婚への支援及び地域の担い手育成に理解と関心を持ち、その役割遂行に支障のない者を立山町社会福祉協議会会長が委嘱するもの。

・結婚相談日の開設

アドバイザーによる結婚相談を第4木曜日午後、第1・第3土曜日午前・第1・3木曜日夜、第2第4火曜日夜に開設し、登録会員への結婚相談等に応じる。

元気交流ステーション相談室等	相談件数(窓口)	62件
	(電話)	124件
	(メール)	39件
	マッチング対応	18件

・成婚カップル 2組(累計10組)

・推進委員会の開催 関係機関への広報啓発及びセンターへの指導助言を行った。

第1回推進委員会

6月5日 元気交流ステーション 参加者 9名

第2回推進委員会(報告)

2月12日 元気交流ステーション 参加者 9名

・支援員研修会及び情報交換会の開催

結婚支援に対する必要な研修(婚活支援、情報セキュリティ、コミュニケーション等)を開催し、支援員の資質向上を図り、支援員間の情報共有の場を提供

第1回全体研修会

6月5日 元気交流ステーション 参加者 22名

第1回支援員情報交換会

6月5日 元気交流ステーション他 参加者 13名

第2回支援員情報交換会

7月17日 元気交流ステーション 参加者 15名

第3回支援員情報交換会

9月17日 元気交流ステーション 参加者 6名

第4回支援員情報交換会

11月20日 元気交流ステーション 参加者11名

・登録会員向け事業啓発イベント等の開催

夏イベント：出会いイベント サマーパーティIN釜ノ蔵

6月29日 20代～40代男女対象 釜ノ蔵 参加者30名

冬イベント：アルプスエクスプレス号に乗車！CHRISTMAS TRIP」

12月 1日 20代～40代男女対象 アルプスエクスプレス号内 参加者36名

※参加者を対象に事前にワンポイント講座を開催 参加者36名

衣食住ミニレッスン&交流会①：(衣) 婚活ファッション

7月21日 30代～40代男女対象 元気交流ステーション 参加者12名

衣食住ミニレッスン&交流会②：(食) 簡単クッキング

9月28日 20代～30代男女対象 元気交流ステーション 参加者9名

衣食住ミニレッスン&交流会③：(住) 自分の住環境をコーディネート

10月19日 30代男女 元気交流ステーション 参加者6名